

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-060)

提出日 平成 17 年 7 月 5 日

(1) イベント名

ユビキタス時代のイーまちづくりセミナー ”ブロードバンド・ネットワークが拓く未来の扉”

(2) イベント概要

(イベントの概要について、目的・内容・出席者・利用方法等について記入してください。)

平成 14 年度から整備に着手した松山市光ファイバ網。その完成を記念したセミナー。松山市と同時に IT ビジネスモデル地区に指定された北海道岩見沢市とを、JGN2 を用いて高品位な映像で結びメッセージを交換するほか、筑波大学で研究開発が進むロボットスーツのデモンストレーションをつくばリサーチセンタから JGN2 で中継した。また、メイン会場（松山）にはスペシャルゲストとして、世界で初めて青色発光ダイオードを開発したアメリカ UCSB サンタバーバラ校 教授 中村 修二氏、四国アイランドリーグ(株式会社 IBLJ) 代表取締役 石毛 宏典氏のお二人を迎え、最先端技術やスポーツにかけた情熱や夢を、ブロードバンド・ネットワークを介して次世代を担う若者たちに直接語っていただいた。

- ・ サテライト会場：愛媛大学（松山市）、つくば JGN リサーチセンタ、北海道岩見沢市、松山市坊っちゃんスタジアム（野球場）、愛媛県立大洲高等学校（大洲市）、松山市立高浜中学校、松山市駅前坊っちゃん広場、西日本電信電話（株）四国支店（松山市）、（株）STnet 本社（高松）、（株）愛媛 CATV 本社（松山市）、テレワーカ宅（松山市）
- ・ 本セミナーは、
 - 愛媛 CATV の番組として、生放送した
 - ◇ 再放送：7 月 7 日（木） 22:00～（3 時間）
 - 愛媛 CATV のホームページ <http://www.e-catv.ne.jp/> 上でインターネットによるライブ中継を実施。
 - エルネット（文部科学省の教育情報衛星通信ネットワーク） で同時配信（全国対象）した。
 - 松山市駅前ギャラクシービジョンでも生放映した。
 - 愛媛大学内は独自に、ストリーミングサービスを実施
- ・ 出席者数（概数）
 - メイン会場：300 人
 - 愛媛大学（サテライト）：40 人
 - 岩見沢市（サテライト）：80 人
- ・ 関連報道：
 - 松山市産業応援団
 - 日経新聞社（日経ネット）
 - 愛媛新聞 2005.6.30（別紙添付）
 - 北海道新聞 2005.6.30

(3) イベントのスケジュール

(特に、回線の試験期間と本番利用期間を明記してください。)

回線の試験期間：6月21日～6月29日

本番利用期間：6月29日 13:20～16:30

(4) 申請者(イベントの責任者)

所属機関： 愛媛大学工学部

(5) 実施の評価等

- これまで何度となくJGNイベントを行ったが、今回ほどうまくできた(パーフェクト)ためしはなかった。実施にあたり、プロフェッショナル(networking&番組制作)を投入した成果である。
- 放送する都合上 安定運用を第一とし、枯れた技術で実施した(IPv4+unicast, 一部multicast。CamOnIp(DV伝送装置))とはいえ、ノートラブルで実施できた要因のうちの一つは、安定なIP網基盤が整備され、その運用機器自身やオペレーション技術が安定してきた証である。
- IP伝送による高品位(SDレベル)映像をリアルタイムかつ安定に、ケーブルTV(愛媛CATV)、衛星(エルネット)、インターネット(愛媛CATV)、と多元放送できたのは、少なくとも四国初の快挙
- 今後は、地域コンテンツ育成とその流通基盤整備実験が課題
 - 総合情報メディアセンター、および愛媛大学メディアサポート映像部が整備している、学内向けストリーミング(ネットワークによる映像放送)サービスの運用実験(最大同時100アクセス)をかねていたが、特に問題なく実施できた。今後は、学内マルチメディア流通基盤の整備を加速する。
- 今回のセミナーは一過性のイベントではなく、3年のJGNプロジェクトで回線は継続する。有効な提案を公募し、探求するする必要あり。

(6) トポロジ (NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

